

## 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム(大阪 HITEC)



## 日本ヒートアイランド学会に出展

▽開催日 平成 30 年 8 月 24 日（金）～26 日（日）

▽場所 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス

8月に日本ヒートアイランド学会全国大会が大阪府立大学で開催されました。6年ぶりに関西で開催され、大阪 HITEC としてポスター展示に出展し、大阪 HITEC の活動、クールスポット・クールロード 100 選、認証制度と製品、法人会員のヒートアイランド対策製品の PR をしました。

また 25 日のプレナリーセッション1では、大阪 HITEC の森山理事長が「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム 大阪 HITEC の活動について」というタイトルで講演された他、増田理事、法人会員の竹中工務店様、行政の大阪市様による講演の後、吉田副理事長がコーディネーターとなり、講演者によるパネルディスカッションが開催されました。さらに、26 日のプレナリーセッション2では大阪 HITEC の法人会員である株式会社大林組様、デクセリアルズ株式会社様及び個人会員の青山様がご講演及びパネリストとしてディスカッションに参加をされる等、2日間にわたりまして、会員の方が御活躍されました。

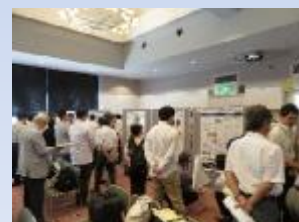
その他にもポスターセッション、展示会、見学会等が行われ賑わっている最中、大阪 HITEC の展示ブースに環境省の吉川 大気生活環境室長が来られ、特にクールスポット 100 選に興味をもたれ、情報交換させていただきました。盛況であった大会を通じて大阪 HITEC の活動を全国の研究者や企業の方に知っていただいたことは大きな成果でした。



大阪 HITEC の活動内容と  
認証製品の紹介等



プレナリーセッション



当日は多くの来場者で賑わいました

## クールスポット体感説明会を開催

▽開催日 平成 30 年 8 月 28 日 (火) 14:00~17:00

▽場所 梅田周辺

夏の開催が恒例となったクールスポット体感説明会。本年度は都市デザインWGと大阪府の共催で、梅田周辺を会場とし、大阪HITEC会員をはじめ、企業の技術者や行政、大学生など、約30名の参加の下、開催しました。

当日は、JR大阪駅(時の広場)・ノースゲートビルディング(風の広場)、グランフロント大阪(水と緑の散歩道)うめきた二期暫定利用区域におけるヒートアイランド対策製品\*の展示、新梅田シティ(新・里山)を巡り、熱環境測定機器による簡易体感温度の測定を行いました。

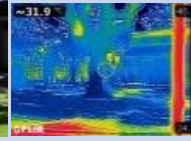
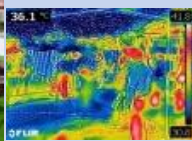
測定の結果、対策のなされているところとそうでないところでは、体感温度に差がみられました。「今後も、より効果的な対策をすすめていかななくてはなりません。」と総評があり、参加者はまさに8月の暑い大阪の都心部で、クールスポットの効果を体感できました。

### 測定風景



### うめきた二期暫定利用区域

### 新梅田シティ(新・里山)



※ご協力いただいた企業とヒートアイランド対策製品(五十音順、敬称略)

(株)オズワーク: フラクタル日よけ『金属フラクタル』、テクセリアルズ(株): 熱線再帰フィルム『Albedo』、(株)テクノ大西: フラクタル日よけ『フラクタルテント』、東洋紡STC(株): 保水・保冷パネル『アースキーパー』、(株)ピカコーポレーション: 遮熱人工芝『コンフォニーターフ』

## 「大阪府クールスポット 100 選・クールロード 100 選」がテレビで放映

毎日放送の情報番組「ちちんぷいぷい」で、大阪HITECが選定し広報している「大阪府クールスポット 100 選・クールロード 100 選」が取り上げられました。8月13日～15日の3日間、「鞆公園」(大阪市西区)、「なんばパークスの溪流沿い」(大阪市浪速区)、「玉出の滝」(大阪市天王寺区)から生中継で放送されました。「災害級の猛暑」といわれた今年の夏に大阪HITECの取り組みを視聴者の皆様にお届けできました。

テレビで取り上げられた大阪府クールスポット、大阪府クールロード



鞆公園



なんばパークスの溪流沿い



玉出の滝

## 「ECO 縁日 2018」大阪HITECをPR

▽開催日 平成30年11月3日(土)

▽場所 花博記念公園鶴見緑地

「ECO 縁日 2018」(主催：大阪市環境局)において、ヒートアイランド対策技術について府民の方々に広く知っていただく為に大阪HITECの活動をパネル出展しました。

今年で21回目を迎えたECO 縁日は、昔ながらの「縁日」を再現し、出展者にとって日ごろの環境に関する取り組みについて発表する場となり、来場者にとって人と自然生活と環境の関わりを考え体験する場となることで、知識を深め行動に結びつけることをねらいとしたイベントです。当日は天候もよく行楽日和であったことから沢山の方がご来場で、大変賑わっていました。

今年の夏は「災害級の猛暑」といわれたためか、暑熱対策に関する技術や製品について関心が高く、来場者のみならず他の出展者様からもご質問いただくなど、多くの方に大阪HITECの活動をPRすることができました。また隣接する大阪府エネルギー政策課のブースにて、涼しく感じられるクールスポットの紹介のほか電気自動車を展示していたこともあり、多くのご家族に立ち寄っていただきました。



展示風景



## 『ヒートアイランド対策技術認証制度』 2製品を認証

認証制度審査委員会の審議を経て、2つの製品が、新たに認証製品に加わりました。これらは、H28年に技術の項目として追加された分野です。認証された技術の詳細は、次のとおりです。

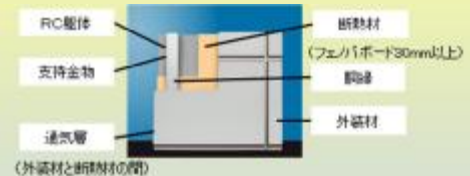
### ●株式会社ツツキ

認証技術：外断熱仕様（外壁面）

対象製品名：LLH 外断熱通気層システム

（アルミ化粧パネル walltop、フェノバボード（30mm以上））

評価項目：日射反射率、長波放射率、熱コンダクタンス、放射受熱量の夜間排熱量

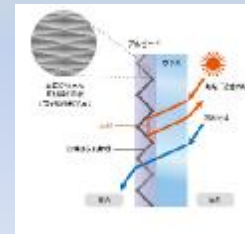


### ●デクセリアルズ株式会社

認証技術：再帰性高日射反射率窓フィルム

対象製品名：熱線再帰フィルム Albedo（型番：IRAVK700）

評価項目：上方日射反射率、下方日射反射率



**認証・準認証製品は、合計13製品となりました！**

## ヒートアイランド対策技術セミナーを開催

▽開催日 平成30年7月3日（火）15:00~17:00

▽場所 リンク大阪

今年度の大阪HITECの技術セミナーには、大阪HITEC会員、企業、研究機関の方、大学生など、約45名の皆様にご参加いただきました。

まず、大阪市立環境科学研究センター 榎元様から「大阪市域におけるヒートアイランドの現状と対策 ―暑熱環境の及ぼす都市生活へ影響と適応策の普及啓発―」をテーマに、大阪市域の暑熱環境の変化やその要因についてご講演いただきました。次に神戸大学大学院 准教授 竹林様から「ヒートアイランド適応策導入に向けたWG横断型勉強会の紹介」をテーマに、H29年度から行っているWG横断型勉強会の取組み内容や今後の展開についてご講演いただきました。



榎元様のご講演



竹林様のご講演

## 感謝状の贈呈

▽贈呈日 平成30年7月3日（火）

大阪HITECでは、今年の総会の冒頭に三木勝夫様に感謝状の贈呈をしました。三木様は設立時から企業と大学や行政との橋渡しを担って頂くとともに高日射反射率塗装技術の専門家として技術認証制度の構築に貢献して頂く等、本コンソーシアムの発展に対し多大なご尽力をいただきました。三木様には心より感謝申し上げます。



贈呈の様子



三木様（左）と森山理事長（右）

## 新都市ハウジングニュースに掲載

一般社団法人 新都市ハウジング協会が発行しています業界誌「ANUHT 新都市ハウジングニュース 2018年夏号 vol.89」に大阪HITECの活動内容をまとめたレポートを投稿しました。同誌は、同会会員の建設業界企業・団体や官庁に配布されており、同号の「特集：ヒートアイランド現象とその対策」の一報として、産学官民連携の取組み事例として掲載されました。

ヒートアイランド対策は、産業界（建設業界、エネルギー業界、素材メーカー、住宅・ハウスメーカー等多岐にわたる分野）、大学等研究機関、行政が情報交換しながら検討し広く周知していくことが重要であることから、今後も各種機会、媒体を通じて大阪HITECの活動をPRしていきます。

理事会・総会を開催

H29年度の活動報告・H30年度の活動方針を承認



理事会



総会

▽開催日 平成30年7月3日（火）

理事会 13：45～14：00

総会 14：15～14：45

「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム」の理事会・総会を開催し、平成29年度事業報告・収支決算、平成30年度事業計画（案）・収支予算（案）、理事・監事の選任・再任について、承認されました。

企画運営委員会を開催

H29年度のWGの進捗状況の報告等

▽開催日 平成30年3月7日（水）10：00～12：00

▽場所 大阪市立総合生涯学習センター



企画運営委員会

H30年度の活動方針・総会の議案を検討

▽開催日 平成30年6月12日（火）15：30～17：00

▽場所 大阪市環境局

認証制度審査委員会を開催

認証対象技術	申請製品 【申請者名】	開催日	開催場所
外断熱仕様（外壁面）	LLH外断熱通気層システム （アルミ化粧パネルwalltop、 フェノバボード（30mm以上） 【株式会社ツツキ】	平成30年 6月12日（火）	大阪市環境局
再帰性高日射反射率窓 フィルム	熱線再帰フィルム Albeedo （型番：IRAVK700） 【デクセリアルズ株式会社】	平成30年 10月2日（火）	大阪市立総合 生涯学習センター

## ワーキンググループの開催

WG名	開催日時	開催場所
第37回熱有効活用・人工排熱低減WG	平成30年 2月28日(水)	大阪市環境局
第38回熱有効活用・人工排熱低減WG	平成30年 7月20日(金)	大阪市環境局
第40回熱有効活用・人工排熱低減WG	平成30年 9月25日(火)	大阪府庁新別館
第42回熱有効活用・人工排熱低減WG	平成31年 1月18日(金)	大阪市立大学 文化交流センター
合同WG第32回都市デザインWG・ 第39回熱有効活用・人工排熱低減WG	平成30年 8月16日(木)	大阪府庁新別館
合同WG第33回都市デザインWG・ 第41回熱有効活用・人工排熱低減WG	平成30年10月26日(金)	大阪府庁新別館
第20回クールスポット創造技術手法WG	平成30年 3月22日(木)	大阪市環境局
第30回都市デザインWG	平成30年 6月 7日(木)	大阪府庁新別館
第31回都市デザインWG	平成30年 7月 9日(月)	大阪府公館
第3回WG横断勉強会	平成30年 3月26日(月)	大阪市環境局
第4回WG横断勉強会	平成30年 6月12日(火)	大阪市環境局
第5回WG横断勉強会	平成30年11月20日(火)	大阪市環境局

WGの詳細は会員用ホームページをご覧ください

<http://www.osakahitec.com/member/>

(閲覧には、ID、パスワードが必要です)



第38回熱有効活用・人工排熱低減WG



第32回都市デザインWG・第39回熱有効活用・人工排熱低減WG

## 平成 30 年度のワーキンググループ事業計画

各分会ワーキンググループでは、それぞれのテーマについて取組を実施しました。

### 素材関連ワーキンググループ

(反射、遮熱、外断熱等に資する素材の研究、具体的活用の提案)

米国の Cool wall や国際的な再帰性反射材の取り組みについて情報交換、収集を行い新たな素材に関する検討の可能性を追求する。適応策として利用されるルーバー、オーニング、日射遮蔽装置などの評価の可能性を検討する。

### 熱有効活用・人工排熱低減 ワーキンググループ

(潜熱化、排熱利用、省エネ・新エネ・代エネ技術(ESCO 含む)による対策手法の調査、活用)

〔人工排熱の 대기熱負荷削減効果の推奨制度の確立〕

- ①空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果および熱汚染対策効果の推奨方法
  - ・空冷空調機用排熱低減対策装置の調査
  - ・蒸発量データ等による 대기熱負荷削減効果の検証方法の確立
  - ・排気温度調査等による熱汚染対策効果の検証方法の確立
  - ・推奨範囲(推奨対象, 期間など)の設定
  - ・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果の関連性調査
- ②人工排熱を 대기以外の媒体に処理する技術を対象にした 대기熱負荷削減効果の推奨方法
  - ・人工排熱を 대기以外の媒体に処理する技術の調査
  - ・河川水・海水利用、地中熱利用に関する経験を有する新たな WG メンバーの選定
  - ・運用データを用いた 대기熱負荷削減量の効果の検証方法の確立
  - ・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価
  - ・人工排熱を 대기以外の媒介に処理する技術の設計段階における効果推奨方法の検討

③大気の直接冷却技術の調査

- ・空気熱源ヒートポンプ、冷却塔、水噴霧など大気を直接冷却する技術の調査
- ・ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価

④推奨制度の確立

- ・設計段階と運用段階での制度確立

⑤ZEB・ZEHにおけるヒートアイランド対策の検討

〔熱有効活用・人工排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報〕

- ・学術研究者や会員を講師にした関連技術等の話題提供や情報交換を行うとともに、情報収集、文献調査を実施する。
- ・今後、空冷空調機用排熱低減対策装置以外の新たなヒートアイランド対策技術の検討を進めるため、ゼネコン、エネルギー業界、自動車業界、住宅・ハウスメーカーの関係者と情報交換を行うとともに、情報収集を実施する。

### クールスポット創造技術手法 ワーキンググループ

(緑化、水活用(噴霧、散水)等技術手法の研究、具体的活用の提案)

- ①緑化技術に関する評価シートの項目、評価手法について、引き続き検討を行う。
- ②平成26年度に作成した簡易測定装置を活用し、測定依頼があった場合、実際の屋上等の施工現場で実測を行い、屋外現場での装置の測定性能評価を行う。
- ③水を利用した道路を冷ます技術など、水を活用したクールスポット創造技術に関する評価シートの項目や評価手法等の検討を行う。
- ④緑化が困難な場所等での保水性資材を用いた温度低減効果など新たな提案の検討を行う。



⑤随時、緑化技術をはじめとした様々なクールスポット創造技術に関する情報交換、及び他のWGとの情報交換を行う。

⑥適応都市の評価方法を検討する。

⑦行政の役割を検討する。

### 熱負荷評価手法ワーキンググループ

(熱負荷削減評価手法の検討)

引き続き、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーション手法についての検討を行う。

### 都市デザインワーキンググループ

(地域における「あるべき都市デザイン」の検討・提言)

- ① クールスポット・クールロード 100 選や過去のアイデアコンペの成果を用いたワークショップを実施し、WG 横断的勉強会での新たな対策技術、特に適応策への貢献や新たなライフスタイルのあり方等を検討する。
- ②啓発活動の一環としてクールスポット・クールロードの現地研修会を実施し、その際、暑熱環境等の計測技術を講習するとともにHITEC 会員企業のヒートアイランド対策製品の効果確認とPR を実施する。
- ③大阪府クールスポット 100 選(平成24年夏実施)及び大阪府クールロード 100 選(平成27年度夏実施)のホームページを継続しつつ、新たな情報発信の手法について検討する。

### ヒートアイランド適応策導入に向けたWG 横断勉強会

- ①適応策の評価に関する指標や方法について検討する。
- ②地域適応コンソーシアムとの連携を検討する。
- ③適応策メニューの整理を行う。
- ④適応策の導入方針を検討する。
- ⑤適応都市の具体事例を検討する。

## 大阪HITECの会員区分・年会費

- 法人会員（議決権1口につき5票）50,000円/1口
- 個人会員（議決権1口につき1票）
  - ・企業に勤務する個人 10,000円/1口
  - ・大学、試験研究機関、行政機関、  
公的機関に勤務する個人 5,000円/1口
  - ・学生 1,000円/1口

※ 年会費納付のご案内の際に、毎年、会員のご連絡先（担当者）について、確認をさせていただいておりますので、ご協力のほど、あわせてお願いいたします。

※大阪HITECは随時会員募集を行っています。

詳細な入会案内については、大阪HITECのホームページをご覧ください。

### ◆◆◆大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの構成メンバー◆◆◆

【法人】アーキヤマデ株式会社、株式会社いけうち、株式会社エスシーエイエヌ、大阪ガス株式会社、大阪府、株式会社大林組、関西電力株式会社、ケイミュー株式会社、住ベシート防水株式会社、太平洋プレコン工業株式会社、太陽エコブロック株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社大高商会、大日化成株式会社、株式会社竹中工務店、デクセリアルズ株式会社、東洋紡STC株式会社、株式会社トルス、日新工業株式会社、株式会社ベルテック、美濃焼クールアイランドタイル振興会、ユニソングループ（株式会社ユニソン、株式会社ユニソン西日本）

（以上 22法人、五十音順）

（平成30年12月現在）

【個人】15名

【オブザーバー】大阪市

以下の大学の教員、名誉教授等の学識経験者が、活動に参画されています。

大阪大学、大阪工業大学、大阪市立大学、大阪府立大学、関西大学、京都工芸繊維大学、神戸大学、  
（五十音順）

発行/大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局

〒583-0862 羽曳野市尺度442

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所内

TEL:072(979)7062 FAX:072(956)9790 URL:<http://www.osakahitec.com>